

上島町

第1回 上島町健康づくり計画策定委員会

8月1日、岩城保健センターにおいて第1回上島町健康づくり計画策定委員会が開催されました。

この策定委員会は、「上島町健康づくり計画」の策定に関して各専門分野からの意見を出していただき、最終的に計画の取りまとめや提言を行う場として設置されました。

当日は、町長から委嘱状が交付されました。その後、委員長及び副委員長の選出、計画の重要項目等について協議が行われました。

また、アドバイザーの愛媛県総合保健協会の藤本医長から、健康づくり計画について県内の状況や上島町の健康意識等についての話がありました。

委員は次のとおりです。（委員長◎ 副委員長○）

●保健医療等の専門家

〔長井志津佳（魚島） 村上武博（生名）〕

●住民団体代表

〔浦野和子（弓削） ◎岡野英二（岩城）

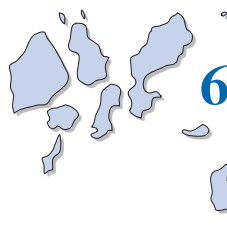
○加納清二（岩城）〕

●学識経験者等

〔武本勇生（弓削）〕



町長から委嘱状交付



6月24日
～8月8日

熱い思いが天に届いた！
上島町老連・第3回グラウンドゴルフ大会

梅雨も中休みの7月8日、岩城小学校において第3回上島町老連グラウンドゴルフ大会が開催され、町内5つの老人クラブから52名が参加。A・B各4組に分かれて、それぞれ8ホールを3周して打数を競いました。

競技終了後、友愛会館に移動して成績発表及び懇親会が行われ、交流を深めました。

成績は次のとおりです。

優勝 高下 完一（岩城）

2位 花井 久子（岩城）

3位 岡野 一郎（佐島）

最高齢賞

浜口 武亀（生名）

濱田 幸子（生名）



開会式の様子

全国生活研究グループ連絡協議会全国会議愛媛大会

～「えひめマドンナフォーラム」に上島町生活研究協議会会員が参加～

7月26日、ホテル奥道後において、「えひめマドンナフォーラム」が開催され、県内外から約1,200名の参加がありました。上島町生活研究協議会（会員21名4グループ）から3グループ11名が参加しました。

数学者・大道芸人であるピーター・フランクル氏の「世界へ羽ばたけ日本女性！」と題した講演のあと、グループ活動報告がありました。

その他、パネル展「えひめの魅力発信！」では、農家レストラン「でべそおばちゃんのお店」を紹介し、実物展示「えひめの味展」コーナーにおいては、菜の花グループの『ひじきと干し大根のきんぴら』、佐島グループの『イギス豆腐』、沢津グループの『ひじきのコロッケ』、岩城グループの『レモン懐石』を展示し注目を集めました。また、特産品販売「えひめの手作り加工品販売会」もあり、西村会長・松本副会長がレモンハート・バリッ娘・八朔マーメイドを販売しました。グループの今後の活動の継続、また、事業展開の参考となったようです。



活気あふれる特産品販売

夏のおたのしみイベント！第22回かみじま ふるさと夜市

8月4日、弓削港緑地公園周辺において、今年で22回目を迎えた“ふるさと夜市”が上島町商工会の主催で開催されました。今年から装いも新たに、弓削港緑地公園へと会場を移し、上島町の岩城・生名・魚島地区からも多くのお客さんが訪れました。

イベントのオープニングは上島の綺麗な夕日をバックに主催者・来賓挨拶・餅まきからスタートしました。ステージでは、勇壮な太鼓演奏やハワイフラダンス・子どもリズム体操・大道芸・ゆかた抽選会などの催しが行われました。夜店には、各地区・各種団体の特色を活かした様々なお店が所狭しと並び、どのお店にも行列ができ、大変賑わっていました。また、イベントの最後には、1,200発の花火が打ち上げられ、お客さんも間近で見る花火に酔いしれていました。



ゆかた抽選会



観客席を魅了したハワイフラダンス



卓越したパチ捌きを披露



一生懸命に練習した成果を披露！



テンポの良いリズムで可愛さアピール！



大道芸

平成19年度 第1回行政改革推進委員会 開催！

8月8日、弓削総合支所において、平成19年度第1回上島町行政改革推進委員会が開催されました。

この委員会は、行政運営の改革の推進に関することを、町長の諮問に応じて調査・審議、意見の具申をすることを目的に設置されたものです。委員会では、平成18年3月に上島町行政改革大綱・集中改革プランの意見の答申を行い、昨年度はその進捗状況について審議を重ねてきました。今後は平成21年度末まで継続して審議を行い、意見・提言をしていただくことになります。

当日は、町長から公募を含めた各地区選出の委員に委嘱状が手渡されました。その後、委員長、副委員長の選出を行い、上島町行政改革進捗状況について審議を行いました。

審議した内容は次のとおりです。

- ①事務事業の整理・合理化 ②行政組織・機構の見直し ③定員管理及び給与等の適正化 ④財政構造の体質強化
⑤協働のまちづくりの推進 ⑥議員定数等の見直し

上島町行政改革推進委員会委員

(◎委員長 ○副委員長)

地区選出	亀山 和磨 (弓削)
	池本 安子 (生名)
	○福井 一明 (岩城)
	関戸 勝由 (魚島)
一般公募	宗近 雄一 (弓削)
	濱田 高嘉 (弓削)
	◎益田 順守 (弓削)



かみじまの島々を満喫！“子どもミニ島体験キャンプ”

7月22日から25日までの4日間、高井神島、魚島、津波島、弓削島の4島を巡る、「子どもミニ島体験キャンプ」が開催されました。このミニ島体験キャンプは、都会と地元の子どもが、かみじまの自然環境に触れ合う中で地域の方との交流や仲間同士での助け合いなど、自立した精神を養うことを目的として開催されました。

今回参加した子どもたちは、上島町から7名、大阪府、兵庫県や広島県など県外の子どもたち12名、総勢19名で、小学校1年生から中学校3年生までの幅広い年齢層の参加がありました。また、文部科学省所管 財団法人「育てる会」の職員を指導リーダーとして迎え、各島では、大勢の地元の方に参加協力をいただき、島の特徴を生かした体験キャンプとなりました。主な活動は次のとおりです。

【高井神島】

高井神公民館において開村式が行われ、上村町長より“上島の自然をおもいっきり体験してください”と挨拶がありました。

さあ、大自然での「サバイバル生活」のスタートです。まずは、海水浴・釣りや貝とりに挑戦。夕食の食材は自分たちの手で確保しました。釣った魚や貝を刺身にしたり焼いたり子どもたちの手で調理され、地元の方たちと楽しく夕食をとりました。

翌日は、急な山道を登り、高井神灯台に到着。海上保安庁の職員から、灯台の役割等について説明を受けた後、灯台より見渡せる素晴らしい景観を堪能しました。

【魚 島】

島民から歓迎の出迎えを受けて島へ上陸。地引き網では、地元の漁師さんの協力を得て、全員で力を合わせて網を引きました。また、この島の透き通った綺麗な海に、子どもたちも感動していました。夕方には、島民の差し入れの魚やエビなどをバーベキューにして頂きました。火おこしなど、悪戦苦闘しながらも、一生懸命夕食をこしらえました。夜は、魚島の民家5件にホームステイ。島の生活や島民の心温まるおもてなしを受けました。

【津波島】

無人島（津波島）で、いよいよサバイバルキャンプを体験。テント張り・釣りや素もぐりにより、夕食の食材を調達。

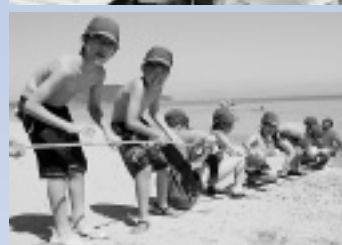
夕食づくりでは、飯ごう炊さんにもチャレンジ。薪を拾ってきたり、お米を研いだり、火を起こしたりと大忙しでしたが、ふっくらと美味しいご飯が炊けました。子どもたちは焼き魚やサザエをおかずには防波堤に座り海を見ながら夕食をとりました。夜には無人島の探検を行い、昔の民家や島から見える夜景を楽しみました。

【弓削島】

国民宿舎 ゆげロッジで、お風呂に入り、4日間みんなでがんばった汗を流して、ゆっくりと昼食をとりました。その後、消防庁舎2階へ移動し閉村式が行われました。子どもたちは再会を誓いながら互いに連絡先を書いた葉書の交換を行い、最後に参加した子どもの名前が一人ずつ呼ばれ、参加者全員から“よくがんばったね”と拍手が送られました。

閉村式終了後、子どもたちは、かみじまの自然の恵みや地域の人との交流など、島でのたくさんの思い出を胸にそれぞれの家路へと島を離れて行きました。

最後に、このミニ体験キャンプにご協力いただいた関係者の方々に紙上より厚く御礼申し上げます。



弓削中学校職場体験学習！

7月11日、弓削中学校生徒による地域体験学習が行われました。1年生は弓削島の歴史の学習。2年生は地元企業の職場体験。3年生は福祉体験とそれぞれ地域の生活や歴史について学習しました。2年生の職場体験では、Aコープ、ゆげロッジ、保育所や消防署などに分かれて職場を体験。Aコープでは店員さんから商品陳列の方法、挨拶や接客方法を教わり、照れながら実演していました。消防署では、重い防火服を着用した訓練、はしご上り訓練等を汗まみれになりながら最後まで頑張っていました。保育所では、園児たちにもみくちゃんにされながら、おんぶや肩車など園児たちと思いっきり遊んでいました。昼寝の時間には一人一人寝かしつけるなど保育さんの大変さをちょっと実感できたようです。

今回の体験を終えて、生徒たちは一回り大きく成長したように見受けられました。



はしご上りに挑戦



園児を寝かしつける生徒

弓削地区

弓削地区一斉清掃！
～小雨の中、1,100人が参加～

7月7日、「私たちのふるさとを自らの手で大切に、きれいにする」ことを目的に、弓削地区一斉清掃が実施されました。

当日は、小雨が降るあいにくの天候となりましたが、約1,100人が参加。各地区の海水浴場、海岸に打ち上げられた空き缶・ビン、流木、公園等の雑草や枝打ちした樹木など、約6.8トンのごみが回収され、ふるさとの海岸や公園等は見違えるようにきれいになりました。

参加されました皆さん、お疲れ様でした。



弓削体育館下の清掃



砂浜の清掃



物揚場の草取り

島を代表する海の祭典！第10回ゆげシーサイドフェスティバル

8月5日、松原海水浴場において、ゆげシーサイドフェスティバルが開催され、さんまレースには町内外から30チーム120名の小学生の参加がありました。さんまレースは地元の特産品である海苔養殖の作業船“さんま船”に乗り込み沖に浮かべたブイを回ってくる競技で、予選から決勝まで白熱したレースが繰り広げられました。バナボートや合わせくじも行列ができる程の人気を集め、焼きそば・焼き鳥・カキ氷などの出店もならび大会を盛り上げていました。

この大会は地元の商工会青年部が主催しボランティアスタッフとの協働により運営されています。来年以降も若さあふれるパワーで大会をおおいに盛り上げてください。



戦艦大和2チームの選手宣誓



4艇、一斉にスタート！



給食当番チーム奮闘！



対戦表に見入る参加者！



出店も大賑わい！



バナナボートも大人気！



なかなか、真つすぐ進みません！



行列のできた合せくじ！

生名地区

まめっこクラブでプール遊び！

7月23日、生名保健センターにおいて「まめっこクラブ」が開催されました。まめっこたちは、用意されたビニールプールでボールやジョウロなどを使ってお友達と思いっきり水遊びを楽しみました。中には初めてのプールに泣き出す子や、機嫌良くプールの中で遊ぶ子、3つのプールを渡り歩く子等、保護者の見守る中、プール遊びを満喫したようです。これからも元気で可愛い笑顔をみんなに見せてくださいね。



参加者集合



気持ちいいね！

猛暑の中、熱戦を展開！
弓削招待サッカー大会

8月4日、弓削小学校グラウンドにおいて、弓削サッカースポーツ少年団主催による第29回弓削招待サッカー大会が開催されました。今年も今治市・西条市・尾道市などからの参加があり、6チームでの熱戦が繰り広げられました。猛暑となったこの日、選手の体調も心配されましたが、全員元気良くボールを追っていました。弓削サッカースポーツ少年団も保護者の熱い声援を受けながら、日頃の練習の成果を発揮し、精一杯のプレーを見せてくれました。サブコートでは、低学年の子どもたちの練習試合も行われました。



開会式の様子

力強く漕ぎ進め！
生名中学校櫓漕ぎ大会！

7月19日快晴の下、生名中学校夏の恒例行事「櫓漕ぎ大会」が行われました。青組、黄組に分かれて、お互いの健闘を祈る応援合戦が終わると、いよいよ櫓漕ぎのスタートです。生徒たちは、潮の流れの影響を受けて時折り舟がコースを外れたりしましたが、能小島沖にあるブイを目指し巧みな櫓さばきを披露してくれました。生徒たちの櫓漕ぎが終わると、男性教師 VS 男子生徒、女性教師 VS 女子生徒の対決が行われました。

結果は男性教師チームが重量オーバーのせいか大差で敗戦。女性教師チームは最初から最後まで上手く操船し、勝利しました。生徒たちは島ならではの貴重な体験を満喫することができました。



ラストスパート！



応援合戦の様子



先生VS生徒

生名保育所「夕涼み会」

7月27日、生名保育所において夏のお楽しみの一つである夕涼み会が行われました。年長組は朝から夏野菜たっぷりのカレー作りの準備に大奮闘!! 出来上がったカレーをパクパク食べていました。その後、宝探しやゲームなどで楽しみました。

メインイベントとして「おばけやしき」に挑戦。ちょっぴり恐さをかくして突っ走る子、去年のことを思い出して入る前から泣く子、保育士が身動きとれないぐらいカー杯しがみついている子など、それぞれに恐怖を体感していました。最後に子どもたちの大好きな花火を手にとると「今までのあの騒ぎは何だったの?」と思わせる一面も見せてもらえました。



お菓子を見つけて満足顔



タマネギの皮むけたよ！

思春期教室&ふれあい体験

7月6日、岩城保健センターにおいて、岩城中学校3年生を対象に「思春期教室」が開催されました。今回は、離乳食づくり、妊婦シュミレーターを使った妊婦体験、人形でのオムツ交換を行いました。妊婦体験では、本物の妊婦さんから生活の中での苦労や親になる喜び等の貴重なお話を聞くことが出来ました。また、ふれあい体験では、中学生が用意してくれた“七夕かざり”を飾りつけたり、一緒にリトミック体操をしたり、工作をしたりと、子どもたちとのふれあいを体験しました。

普段は、あまりできない体験を通して、「子どもを育てる大変さや楽しさ」を学び「将来の子育て」について考える良い機会となったようです。



起きるのも大変！



離乳食づくりに挑戦



七夕かざりを飾る生徒

岩城ブルーレモンソフトボール交流会！

平成16年から練習試合がきっかけで始まった倉敷市茶屋町スポーツ少年団との交流会が7月28日に行われました。当日は倉敷から保護者を含め総勢58名が大型バスで8時半に岩城小学校に到着。9時から上級生と下級生の2チームに分かれ、練習試合を2試合行いました。試合終了後は全員で岩城の保護者がこしらえた昼食をいただきました。午後から茶屋町スポーツ少年団は津波島でキャンプを体験し、翌日、島での楽しい思い出を胸に帰路につきました。岩城ブルーレモンでは、県内外のチームとの試合を通じ、多くの交流を持ち、ソフトボールの技術だけでなく、礼儀を身につける活動を行っています。



選手全員で肩を組んで仲良く記念撮影

岩城地区

岩城老友会カラオケ部 寿カラオケ大会で熱唱！

6月24日、今治市総合福祉センターにおいて今治市社会福祉協議会主催の第19回「寿カラオケ大会」が開催され、岩城老友会カラオケ部が参加しました。団体戦では第3位に入賞。個人戦では宮本知恵子さんが“熱演賞”に輝けました。これからも、元気に明るく楽しい活動を続けてください。



岩城老友会カラオケ部の皆さん

ふるさと再発見 ふるさと水辺の生き物教室開催！

7月25日、岩城小学校の児童を対象に身近にいる昆虫などの観察を通して自然が残るふるさととの良さを体感してもらおうと「ふるさと水辺の生き物教室」が開催されました。参加者は岩城島西部地区の加茂池周辺の林でカブトムシ等の昆虫や池に生息する水生昆虫を捕獲しました。みんな、初めて見る昆虫も多かったようです。

その後、岩城小学校へ移動し捕まえた虫などの生態系や自然環境の役割等について勉強しました。今回の活動を通じて環境保全に関心を持ち、ふるさとの自然を守るきっかけとなれば幸いです。



何か捕れたよ！



参加者全員で記念撮影

夏休み子ども教室 おもしろ実験！空気砲をつくろう！

7月26日、「おもしろ実験！空気砲をつくろう」と題し夏休み子ども教室が愛媛県総合科学博物館より講師をお招きし開催されました。今回は「空気ってどういう性質があるのかな？」というお話から、空気の不思議な力を学び、ペットボトルやダンボールを使っての空気砲づくりにチャレンジしました。参加した子どもたちは、空気砲で口ウソクの火を消したり、風船をとばしたり、友達同士で競い合っていて楽しんでいます。笑顔あふれるにぎやかな教室となりました。



空気砲っておもしろいね！

～魚島保育所夕涼み会～ そうめん流しは大好評

7月27日、魚島保育所において恒例の夕涼み会が開催されました。

園児のお父さん、お母さんと一緒に、そうめん流し、ゲームや肝試しなど、夏の風物詩を楽しみました。

そうめん流しを初めて体験した園児たちは、流れるそうめんを取るのに四苦八苦する場面もありました。肝試しでは泣き出す園児もいましたが、子どもたちの心に残る夏の思い出の1ページとなりました。



そうめん流しをする親子



花火を楽しむ園児

～魚島地区子育て講座～ 「乳幼児期の子どもへのかかわりについて」

7月12日魚島開発総合センターにおいて魚島地区子育て講座が行われました。今回は乳幼児を持つ保護者のみなさんを対象に、今治市龍門保育園長の龍田宥仁先生をお迎えし、乳幼児期の子どもへのかかわりの大切さについて講演をしていただきました。お寺の住職でもある龍田先生の、“人として、親として、どう生きるか”をテーマに今までの子どもとの対話の中から育んできた体験談に参加者も感銘を受けたようです。



先生の話に聞き入る参加者

昔ながらの干しエビづくりに挑戦！

魚島・高井神で15年前までさかんに作られていた、「干しエビづくり」が7月11日、小中学生対象に魚島総合支所前広場において行われました。まずは、魚島沖で獲れた新鮮なエビを海水で洗い、大きな釜で茹でてムシロに干すまでの作業を体験しました。

また、島の漁師さんに、島いっばいに干しエビがつくられていた時代のお話をしていただきました。近くを通る住民も、懐かしそうに子どもたちの干しエビづくりの様子を眺めていました。子どもたちも島の人とふれあい、楽しみながら島の食文化について学ぶことができたようです。



エビを海水で丁寧に洗いました。



エビの干し方を教わる児童